

# 宇都宮共和国大学

## 20周年記念誌





## Greeting



宇都宮共和大学  
学長 須賀 英之

### 学長あいさつ

### 地域社会のより良い未来に貢献する

宇都宮共和大学は、来年で創立120年の伝統を誇る学校法人須賀学園が設置する大学であり、系列校の宇都宮短期大学・同附属高等学校・中学校とあわせて、3千名を超える学生生徒が日々学んでいます。

「全人教育（人間形成の教育）」という教育理念により、「シティライフ学部」は豊かな都市生活の実現に貢献する人材を、「子ども生活学部」では子どもの生活・教育・福祉に貢献できる専門的職業人の養成をめざしています。学生は、ますますグローバル化や多様化する市民生活のさまざまな課題を、「シティライフ学」や「子ども生活学」という最先端の学際的学問によって分析し、その実践的な解決策について学んでいます。創立20周年の節目にあたり心をあらたにして、これからも社会で有為な愛される人材の輩出に邁進してまいります。

また、本学の使命は、その教育研究成果を地域に還元していくことにもあります。須賀学園の総合的な教育資源を結集、発揮して、地域の活性化や文化の振興に尽力することをお誓い申し上げます。

学園の創立者須賀栄子先生が教育の根源に置いた「全人教育」は明治、大正、昭和、平成、令和と時代は変わっても、決して色あせることのない崇高な理念です。

教育関係者や地域のみなさまには、こうした本学の教育理念をご理解いただき、今後ともご指導とご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。



須賀学園 創立者  
須賀 栄子 先生



(那須キャンパス) 学園創立100周年モニュメント (長坂キャンパス)



## 学校法人須賀学園 建学の精神 「全人教育(人間形成の教育)」

人間尊重の精神と豊かな人間性とを啓培し、民主社会における真のぞましい人間を育成する。円満な教養と高い徳性とを培い、個々の特性の伸長につとめ、心身ともに健康な人物を育成する。自主自立の気風を高め、忍耐力と実践究明の態度を涵養し、勤労と責任を尊ぶ人材を育成する。

### 宇都宮共和大学 教育理念

教育基本法及び学校教育法に則り、建学の精神である『人間形成の教育』に基づき、時代の潮流と社会の要請を見極め、常に知識と能力を向上させるとともに大学を地域社会における知的交流の場とし、さらに経済、教育、文化の振興と社会の向上に貢献できる人材を育成することを目的とする。

### 副学長・シティライフ学部 学部長あいさつ



私が本学に着任した当時のキャンパスは那須塩原市にあり、大学の名称も那須大学都市経済学部でした。この年は、黒磯市、西那須野町及び塩原町の1市2町が合併し、那須塩原市が誕生した年でもありました。翌年には、宇都宮シティキャンパスが完成し、大学の名称も宇都宮共和大学シティライフ学部になりました。

#### 宇都宮共和大学 副学長 シティライフ学部 学部長 山島 哲夫

当時は、シティライフ学とは何か、その内容を理解してもらうのに一所懸命であったことが思い出されます。宇都宮にキャンパスが移ってから、宇都宮市の「大学生によるまちづくり提案」をはじめとして、様々な機会を通じて地域貢献活動に取り組むことにより、「豊かな都市生活の実現に貢献する専門家」を養成するという学部の考え方も定着してきました。

2011年には、子ども生活学部が設置され、宇都宮短大と合わせて、都市の生活・経済・まちづくり、保育・子育て支援、福祉、食物栄養、音楽まで人間生活の幅広い分野をカバーする総合的な高等教育機関に発展しています。

大学の目的は、「地域社会に貢献できる人材を育成すること」にあります。現在では、宇都宮共和大学の卒業生が様々なところで活躍する姿を見かけるようになりました。大学の使命が着実に果たされつつあることを実感しています。私も引き続き精一杯、努力していきたいです。

### 子ども生活学部 学部長あいさつ



1900年の須賀学園創立から101年目の2001年4月宇都宮短期大学に人間福祉学科が設置され、私は着任しました。2003年4月に人間福祉学科に幼児福祉専攻が設置され、2011年4月に子ども生活学部へ改組されました。

前半の10年間で思い出に残るのは、那須キャンパスでのキャンプ実習です。夏にもかかわらず涼しい気候、時には激しい雷、広い運動場や体育館等実習施設、広大な松林の自然に囲まれたキャンパスはキャンプ活動を行う学生にとってたいへん恵まれた環境でした。

#### 宇都宮共和大学 子ども生活学部 学部長 河田 隆

後半の10年間は、宇都宮共和大学子ども生活学部でシティライフ学部と共に歩ませていただきました。大学設置当初から目指してきた「地域社会に開かれた大学」として20周年を迎えた今日、シティライフ学部や宇都宮短大と連携した数多くの活動が、地域社会で高い評価を受けています。

子ども生活学部においては、2019年3月に5期生が卒業し、4月には9期生が入学し、多くの卒業生が保育所・幼稚園・認定こども園等で活躍しています。

地域の期待に今後も確実に応えられるよう、教育研究を着実に積み重ねていきたいと改めて強く思っています。

## INDEX

学長あいさつ/須賀 英之	01	教職員の言葉	07
副学長・シティライフ学部 学部長あいさつ/山島 哲夫	02	卒業生の言葉	08
子ども生活学部 学部長あいさつ/河田 隆	02		
-----			
那須大学都市経済学部の設置計画/須賀学園長・初代学長 須賀 淳	03	Photograph 03/学生生活①	09
シティライフ学部へ、子ども生活学部の開設		Photograph 04/学生生活②	10
第2代学長/一河 秀洋	04	Photograph 05/社会貢献活動	11
子ども生活学部 初代学部長・名誉教授/牧野 カツコ	04	Photograph 06/宇都宮短期大学(長坂キャンパス)	12
宇都宮短期大学 副学長・音楽科学科長/直井 文子	04		
-----			
Photograph 01/那須大学都市経済学部の歩み	05	須賀学園の歩み	13
Photograph 02/宇都宮共和大学シティライフ学部・		宇都宮共和大学の歩み	14
子ども生活学部の歩み	06		

# 那須大学都市経済学部の設置計画



須賀学園長・初代学長  
須賀 淳

「一人は一校を代表する」という思いを胸に

21世紀を前に学園として将来どうあるべきか、いろいろ検討した結果、社会の変化に対応できる個性や創造力のある人材を高等教育機関にて育成することが、日本が活力ある社会を維持し、世界の平和と繁栄のために役割を果たしていくうえで不可欠と考えました。

当時、栃木県内の高校生は首都圏に近いこともあって、県内の大学に進学する割合が全国平均に比べ大変低く、県北には人文科学系の大学がありませんでした。1992年には国会等移転の法律が成立し、国の審議会により「栃木・福島」がその候補地になりました。これを受けて、県、地方公共団体、経済団体から学園に県北地域での大学設置の要望が寄せられました。

こうした経緯から、旧黒磯市（現那須塩原市）に日本初の都市経済学部を有する大学を開学したのです。

都市経済学という新しい学問分野にしたのは、私たちが生活している都市にはグローバル化や少子高齢の社会を迎えていろいろな課題が生じており、クオリティ・オブ・ライフが、必ずしも満足いく状態ではないことでした。これまでは経済成長一本槍で、とても市民の身の周りを考える余裕がなかったからです。これらの課題を直視して、とくにその社会経済的側面について総合的な教育研究を行うための学問が都市経済学、現在のシティライフ学です。

また公私一体となった大学の体制は、これからの時代と社会に即応した新しい取り組みであると全国的に注目されるようになりました。

須賀栄子先生が学園を創設してから99年目に大学を誕生させることができたのは、何といても「全人教育」という教育理念にあります。つねにこれを基準に、時代の変遷がいかにあろうとも、社会がどのように動こうとも、教育はいかにあるべきかを考えてきた伝統の力だと確信しています。

この教育理念を学園生活全般にわたって示したものが、「一人は一校を代表する」という生活目標です。学生生徒や卒業生たちが胸に抱く「一人は一校を代表する」という思いが、学園のこれまでの発展を支えてくれました。一人ひとりが学園にとってかけがえのない宝です。そして各人が輝かしい人生を送ることが、身命を賭して教育に取り組んできた私の、何物にも代えがたい喜びです。

学生生徒一人ひとりの個性、能力、特質に対応して教育をいかに行うか、持っている力をどのように伸ばすかを思い、「全人教育」という言葉に集約される栄子先生が学園創設にすべてをささげた魂を、これからも大切にしていきたいと考えています。





# シティライフ学部へ、子ども生活学部の開設



第2代学長  
一河 秀洋

## 地域創生を知之拠点として支える大学

私が大学づくりに参画したのは、学園が創立100周年事業として大学を設置する決断をされた1990年代半ばです。須賀淳理事長(当時)から依頼を受け、日本大学の田中啓一先生と学園顧問の村瀬峻一氏と共に、「地域に開かれた大学」、「地域に貢献する大学」を作りたいと考えました。地域から学生をお預かりし、「地域の発展に貢献できる地域のリーダー」を送り出すため、開拓者スピリッツのあふれる那須の地で、栃木県や那須塩原市の協力を得て「新しい大学づくり」を始めました。

当時の日本は、ヒト・モノ・カネが東京に集中していることが大きな問題になった時期で、首都機能移転の最有力候補地が那須地域に選定されました。「経済の中心が東京」に対し、「政治の中心は那須」に移すという構想でした。首都機能移転は残念ながら頓挫しましたが、首都機能の一部を東京以外の場所に移し、国全体の危機管理能力を高めていくという国家的命題は、現在の課題でもあります。

大学設立当初は理解してくれる人が少なかった「地域に開かれ、地域に貢献することが大学のミッション」、「地域の人材育成と知之拠点として大学は存在すべき」という考え方は、創設から20年を経て「地方創生」という言葉になって、日本全国で受け入れられるようになったことを、大変うれしく思っています。

大学が那須から北関東最大の都市、宇都宮にステージを移し、若者たちがまちづくりに参画し、シティライフ学部・子ども生活学部が共に協力して様々な成果を上げていることはご同慶の至りです。これは、宇都宮共和大学の学生が、「都市の生活や暮らしを見つめ、主体的に行動する市民として、社会の一翼をになう人材」に育てていることを示すもので、誇りに思います。

今後も、宇都宮共和大学の益々の発展をずっと応援し続けたいと思います。



子ども生活学部 初代学部長・名誉教授  
牧野 カツコ  
子育て支援研究センター長

宇都宮共和大学は、2011年の子ども生活学部の開設とともに“人づくり”と“まちづくり”を両輪に学ぶユニーク大学になりました。人間の誕生から高齢期まで、人びとの成長と発達、生活と地域を豊かにするための教育研究を行っています。地域の環境・産業・文化・人間などを総合的に見つめる本学の全人教育は、これからますます重要になることでしょう。

宇都宮共和大学子育て支援研究センターでは、地域の子どもが健全に育つことができる生活環境の向上に役立つよう、様々な活動を教員と学生が一体となって頑張っています。



宇都宮短期大学 副学長  
直井 文子  
音楽科学科長

20歳を迎えた頼もしい宇都宮共和大学に、創立半世紀の長坂キャンパスから心よりお祝いを申し上げます。この間、次世代の人材養成を担う「子ども生活学部」が加わり、宇都宮短期大学では豊かな心を育てる「音楽科」、暮らしを育む「人間福祉学科」、健康で豊かな食生活のための「食物栄養学科」が一体となって、「We're Fine!」の歌を謳っています。

これからも夢が大きくふくらむ社会づくりに向けて、個性と感性を磨きあう、活気にあふれたキャンパスであることを願っています。



# Photo Graph 01 那須大学都市経済学部への歩み



那須キャンパス全景



那須大学 竣工式 (1999年)



第1回那須大学入学式 (1999年)



第1回那須大学学位授与式 (2003年)



那須キャンパス 授業風景



那須キャンパス 学生ホール



第1回那須大学大学祭 (1999年)



留学生寮 (那須塩原市)  
20th Anniversary 05



スクールバス (那須キャンパス)



那須塩原市生涯学習大会



# Photo Graph 02 宇都宮共和大学シティライフ学部・子ども生活学部の歩み



宇都宮共和大学 宇都宮シティキャンパス全景



長坂キャンパス 5号館



長坂キャンパス 5号館 起工式 (2009年)



宇都宮シティキャンパス 起工式 (2005年)



宇都宮共和大学 シティライフ学部入学式 (2006年 栃木県総合文化センター)



第1回すみれ祭 (シティキャンパス 2006年)



新入生歓迎会 (シティキャンパス 2007年)



宇都宮共和大学・宇都宮短期大学 第1回合同入学式 (2011年)



第1回ジャパンカップクリテリウム (シティキャンパス 2010年)



東日本大震災直後のシティライフ学部の学位授与式 (シティキャンパス 2011年)



## 教職員の言葉

シティライフ学部 名誉教授・前副学長 大久保 忠且

本学の発足時はブエノスアイレス大学勤務（客員教授）であり、2000年度から2017年度まで18年間の本学在職でした。

その間、学生と共に自然界の生物の生き方について学べたことは、諸君との楽しい交流と、教職員の皆さんの温かいご支援の“賜物”だったと心から感謝しています。



子ども生活学部 名誉教授・前学部長 日吉 佳代子

子ども生活学部の名称は、「乳幼児期からの子どもを対象とし、生活環境である家庭、施設、地域社会を総合的に視野にいれ、望ましい生活環境を作るための研究教育と、課題解決の為の実践的な活動を行う」という趣旨で命名しました。教育研究と実践が充実・発展していることを嬉しく思っています。



シティライフ学部 前事務局長 岡田 一成

事務局長として18年間勤務しました。暑い日に汗だくになって校庭の剪定を行ったこと、球技大会の楽しい思い出、センター試験、そして自己点検評価など経験のない業務にも追われていました。

これからも学園の総合的な教育研究資源を生かして、宇都宮共和大学がさらに大きく発展されますよう心からお祈りいたします。



シティキャンパス後援会長 谷田部 正一

宇都宮共和大学の開学20周年おめでとうございます。建学の精神である「全人教育」のもと、「ひとりひとりの顔が見える大学」を具体化されている学園長先生・学長先生をはじめとする教職員の皆さまに感謝申し上げます。本学のさらなる発展を心からお祈り申し上げます。



シティライフ学部 名誉教授 福岡 正夫

開学20周年まことにおめでとうございます。心からお慶び申し上げます。講壇を去ってから、かなりの歳月が経ちましたが、今でも那須、宇都宮両キャンパスで学生諸君とともに過ごした楽しい思い出が鮮やかに蘇ります。

大学のますますのご発展を祈念して、祝贺のご挨拶とさせていただきます。



シティライフ学部 名誉教授 夫 光植

金融論・アジア経済論等を担当しながら、国際交流センター長として、留学生指導の役職を務めました。

退職後は日本と韓国の間を往来しながら、学会活動を通じて学究生活を続けています。

大学発展の磐石な礎をお喜びすると共に、更なる跳躍を祈願いたします。



子ども生活学部 学科長 高柳 恭子

新元号「令和」の時代の幕開けに、宇都宮共和大学開学20周年を迎えますことは喜ばしい限りです。

須賀学園の120年の伝統を活かし、これからの「超スマート社会」を切り拓く人材育成、とりわけ地域の核となる保育者の養成は、ますます重要です。保育に携わる方々から本学には、大きな期待が寄せられています。



シティライフ学部 事務職員 磯 澄江

開学したばかりの頃の在学学生は、私とほぼ同年代でしたが、現在の学生は子どもくらいの年代となっています。月日の流れの早さに驚くばかりです。

本学には、素朴ながら素直で真面目な学生が多く、卒業生は様々な方面で活躍しています。今後も学生が充実した4年間を過ごせるようサポートして参ります。



シティライフ学部 同窓会長 新井 陸晃

1期生で入学し、男声コーラス部をつくりました。良き出会いがあり、一生の友人に恵まれ、今もコーラスを続けられていることは大きな人生の財産です。

歴史は続きます。学生の皆さんには、これからも古きものを学び新しいものを創造する精神を養ってください。





# 卒業生の言葉

## シティライフ学部 第1期卒業 松岡 和樹

新たな事を生み出しやすく、協力し合う仲間、適度な距離感で見守ってくださる教職員の方々に囲まれた環境は、自らのなすべき事を見出す習慣を身に付けた貴重な時間でした。現在、保険代理店で社長を務めていますが、卒業生として恥ずかしくないよう、日々精進しています。



## シティライフ学部 第4期卒業(留学生) エリシバト

内モンゴルから留学し、シティライフ学を学び、卒業後は日本で職を得て家庭を作り、子供にも恵まれています。大学で学んだ知識を基に外食業を営んでいますが、都市生活の変遷に関する地みない学修なしには事業の持続的成長は期待できません。

開学20周年を心より慶祝します。



## シティライフ学部 第7期卒業(留学生) 江 小涛

宇都宮共和大学の4年間は、素晴らしい先生方に恵まれ、留学生の私にとってきわめて有意義な大学生活でした。在学中、指導教授にたくさんのお話を相談でき、大いに役立っています。ここまで導いてくださった大学の教えがあったからこそだと思います。頂いた恩恵を共に「和」を願い、社会に恩返しできるようながります。



## シティライフ学部 第13期卒業 小林(旧姓江連) 遥

高校時代から公務員になる、という目標がありシティライフ学部を進学先に選びました。そうした私の志望を汲んでくださった先生方のご指導や仲間との学びの中で、様々な将来の選択肢や可能性を広げ、経験したことは、今でも私の大きな糧となっています。学んだこと活かし、地域に貢献できるよう、努めてまいります。



## 子ども生活学部 第1期卒業 飯塚 美貴

大学時代、同じ夢を持った仲間と楽しい時間を過ごすことができました。彩音祭や保育現場の発表会で、友達と一緒にピアノを演奏できたことは、今でも私の心に残っています。親身になってご指導してくださった先生方や、同じ保育の仕事で喜びや悩みを共有できる「仲間」に出会えたことは、私にとっての大きな宝物です。



## シティライフ学部 第1期卒業(社会人) 渡辺 克久

私が大学に入学させて頂いてから早20年を迎え、時の流れの早いことに本当にびっくりしています。今、振り返ってみると社会人として入学することはとても不安でしたが、大学で学んだ事は、現在の私の自信と後輩を育成するための糧となっています。

1期生として卒業したことを誇りに感じています。



## シティライフ学部 第1期卒業 五月女 聖

夢であったホテルマンとして働いています。在学中は経済学を学びながら、アルバイトでサービス業を学びました。

厳しい職業ですが、お客様の「ありがとう」は、一番の幸せです。施設見学・ゲストスピーカー等、母校に恩返しが出来ますよう、一生懸命務めています。



## シティライフ学部 第5期卒業(社会人) 中野 登喜男

社会人学生として、日本の人口推移を中心に、現状や今後のグローバル化を勉強することが出来ました。卒論や観光農業にも挑戦し、卒業後は田んぼアート制作に奮闘中。

農と観のコラボレーションを通して、地域活性化をはかると共に母校と関わりを保ち、社会に貢献していきたいと思っています。



## シティライフ学部 第8期卒業 佐々木 賢太

シティライフ学部では、様々な視点から人々の生活を捉えることができました。講義だけではなく、研究会や海外視察にも取り組みました。その経験は役場職員という職業にそのまま役立っています。サークルや大学祭実行委員会でも活躍の場を与えていただき、大学での4年間は私の輝く財産です。



## シティライフ学部 第14期卒業 向田 奈津美

在学中は先生方や友人たちに恵まれ、有意義な時間を過ごすことができました。

現在は損害保険会社の宇都宮支店に勤務し、法人向けにサービスを提供しています。シティライフ学部で学んだことを生かしながら、地域の産業や暮らしに貢献できるよう努力しています。



## 子ども生活学部 第3期卒業 落合 桃子

今ではかけがえのない存在となっている学友に囲まれ、日々成長が実感できる生活を過ごしました。温かく親身になって相談に乗ってくださった先生方の存在が心の支えとなっていました。

子どもとの関わりで悩んだ時は、先生方の言葉を思い出しています。大学での学びは、保育者として働く中でも日々活かしています。







新入生歓迎会(長坂キャンパス 2011年)



新入生歓迎会(長坂キャンパス 2014年)



長坂キャンパスでの入学式(2018年)



全学部学科が参加する合宿交流研修(鬼怒川温泉 2011年)



子ども生活学部 公開講座(2011年)



ふるさと宮まつりに参加(2012年)



学生ゆかた祭(シティキャンパス 2010年)



シティライフ学部 卒論発表会(2018年)



オープンキャンパス(長坂キャンパス 2012年)



卒業記念祝賀会(東武ホテルグランデ 2012年)



大学・短大合同学位授与式(2012年)



合宿交流研修 鬼怒川温泉まち歩き(2018年)



新入生歓迎BBQ大会(シティキャンパス 2019年)





子ども生活学部 オーストラリア研修 (2014年)



第1回まちなかクリスマスコンサート (2005年)



学生広場で新入生歓迎会 (長坂キャンパス 2011年)



オリエンテーション 子ども生活学部 (2011年)



就職・進路活動激励会 (長坂キャンパス 2016年)



合流交流研修 (東武ワールドスクエア 2015年)



キャンプ実習 (長坂キャンパス 2014年)



第1回長坂サンマ祭り (2011年 彩音祭)



スキー実習 (那須高原 2019年)



全学部学科が参加するレクリエーション  
フェスティバル (2012年)



レクリエーションフェスティバル (2013年)



留学生スピーチコンテスト (2012年)



まちなかXmasコンサート  
(シティキャンパス 2016年)



彩音祭 (長坂キャンパス 2017年)



彩音祭 (長坂キャンパス 2018年)





石巻市でのボランティア (2011年)



幼稚園の子どもたちとハロウィン (2012年)



まちなかのにぎわいづくりシンポジウム (2014年)



大学生によるまちづくり提案第1位受賞 (2013年)



ジャパンカップクリテリウム  
応援チアリーディング (2015年)



まちな駅 オール栃木交流会 (2017年)



まなび博 (那須キャンパス 2018年)



LRTラッピングセレモニー (2019年)



LRTシンポジウム (2019年)



シティライフ学シンポジウム (2019年)



シティライフ学シンポジウム (2019年)



まちなかクールシェア・コンサート (2019年)  
20th Anniversary 11



県北地区演奏会 (2019年)



子育て支援研究センターコンサート  
(Tiny 長坂キャンパス 2019年)





彩音祭 (2009年)



入学式 5号館建設中 (2010年)



いむらかずお氏公開講座 (2010年)



レクリエーションフェスティバル (2010年)



高齢者施設ハーモニー訪問 (2016年)



ミヤラジで番組放送開始 (2017年)



沼尾みゆき先生コンサート (2018年)



宇都宮短期大学創立50周年記念式典 (2017年)



宇都宮短期大学創立50周年記念演奏会 (2017年)



食物栄養学科開設記念公開講座 (2019年)



食物栄養学科設置 (2019年)



# 須賀学園の歩み

1900年	(明治33年)	11月	共和裁縫女学校(須賀学園)創立
1924年	(大正13年)	4月	宇都宮須賀女学校となる
1932年	(昭和 7年)	4月	宇都宮女子高等職業学校に校名変更
1946年	( 21年)	4月	須賀高等女学校となる
1947年	( 22年)	4月	学制改革により須賀中学校を併設
1948年	( 23年)	4月	学制改革により宇都宮須賀高等学校となる(睦町キャンパス)
1949年	( 24年)	12月	須賀学園家庭専門部を併設
1951年	( 26年)	1月	私立学校法の制定により学校法人須賀学園に組織変更
1964年	( 39年)	4月	高等学校に音楽科を設置
1967年	( 42年)	4月	宇都宮短期大学(音楽科)を設置(長坂キャンパス)
1968年	( 43年)	9月	高等学校を宇都宮短期大学附属高等学校に校名変更
1970年	( 45年)	4月	高等学校に調理科を設置
1983年	( 58年)	4月	宇都宮短期大学附属中学校を設置
1999年	(平成11年)	4月	那須大学都市経済学部都市経済学科を設置(那須キャンパス)
2000年	( 12年)	11月	須賀学園創立100周年
2001年	( 13年)	4月	宇都宮短期大学に人間福祉学科(社会福祉専攻・介護福祉専攻)を設置、3号館を増築
2003年	( 15年)	4月	宇都宮短期大学人間福祉学科に幼児福祉専攻を設置
2004年	( 16年)	9月	須賀学園教育会館を開設
2006年	( 18年)	4月	那須大学都市経済学部都市経済学科を宇都宮共和大学シティライフ学部シティライフ学科に名称変更、宇都宮シティキャンパスを開設
		10月	長坂キャンパスに多目的アリーナを増築
2009年	( 21年)	4月	宇都宮シティキャンパスに教育厚生棟を増築
2011年	( 23年)	4月	宇都宮共和大学に子ども生活学部を設置、5号館を増築(長坂キャンパス)
2017年	( 29年)	4月	宇都宮短期大学 創立50周年
2019年	( 31年)	4月	宇都宮短期大学に食物栄養学科を設置
	(令和元年)	11月	宇都宮共和大学 創立20周年記念行事



宇都宮共和大学シティライフ学部  
宇都宮シティキャンパス



宇都宮共和大学 子ども生活学部  
長坂キャンパス



宇都宮共和大学那須キャンパス



宇都宮短期大学 音楽科  
長坂キャンパス



宇都宮短期大学 人間福祉学科  
食物栄養学科 長坂キャンパス



宇都宮短期大学附属高等学校  
宇都宮短期大学附属中学校  
睦町キャンパス



須賀学園教育会館  
睦町キャンパス



# 宇都宮共和大学の歩み

年度	大学	社会
1997年 平成9年	・那須大学開設事務局発足 ・那須大学建設工事着工	・香港が中国に返還 ・消費税3%から5%に引き上げ ・日本サッカーW杯初出場決定
1998年 平成10年	・高校教員対象入試説明会 ・文部省実地調査	・第1回専任教員会議 ・那須大学設置認可、第1回オープンキャンパス
1999年 平成11年	・那須キャンパス落成 ・那須大学都市経済学部都市経済学科設置 ・須賀淳学長就任	・第1回入学式 ・第1回大学祭 ・那須キャンパス マロニエ建築賞受賞
創立1年目 2000年 平成12年	・大学後援会発足	・平成の大合併(市町村合併)開始 ・男女共同参画基本法成立 ・とちぎテレビ開局
創立2年目 2001年 平成13年	・一河秀洋学長就任 ・須賀英之副学長就任 ・スクールバス運行開始	・アメリカ同時多発テロ事件 ・家電リサイクル法スタート ・皇室に愛子内親王ご誕生
創立3年目 2002年 平成14年	・大学1期生就職内定報告会	・欧州12ヵ国単一通貨ユーロ流通開始 ・冬季オリンピック(ソルトレイクシティ) ・住民基本台帳ネットワーク(住基ネット)スタート
創立4年目 2003年 平成15年	・センター試験利用入試導入 ・第1回学位授与式 同窓会結成 ・須賀英之学長就任	・中国初の有人宇宙飛行に成功 ・自衛隊イラク派遣決定
創立5年目 2004年 平成16年	・須賀学園教育会館(睦町キャンパス)竣工 ・Zenjin cafe(那須キャンパス)オープン	・オリンピック(アテネ) ・北島康介世界選手権男子100m平泳ぎ世界新 ・北朝鮮拉致被害者ご家族帰国
創立6年目 2005年 平成17年	・大久保忠且副学長就任 ・一河秀洋前学長 叙勲受章	・宇都宮シティキャンパス落成 ・第1回まちなかクリスマスコンサート
創立7年目 2006年 平成18年	・宇都宮共和大学シティライフ学部シティライフ学科に名称変更、大学本部を宇都宮に移転 ・多目的アリーナ竣工(長坂キャンパス)	・大学祭を「すみれ祭」と名称変更 ・宇都宮シティキャンパス マロニエ建築賞受賞 ・入学式を栃木県総合文化センターに移す
創立8年目 2007年 平成19年	・那須キャンパス源泉(共和温泉)湧出 ・学位授与式を栃木県総合文化センターへ移す	・原油価格急騰 ・郵政民営化スタート ・栃木県庁新庁舎落成
創立9年目 2008年 平成20年	・シティライフ学部一日研修旅行(東京) ・宇都宮シティキャンパス「まちの駅」に登録	・オリンピック(北京)女子ソフトボール金メダル ・リーマンショック ・新生・足利銀行スタート
創立10年目 2009年 平成21年	・教育厚生棟竣工(宇都宮シティキャンパス) ・教員免許状更新講習開始	・裁判員裁判開始 ・民主圧勝、政権交代
創立11年目 2010年 平成22年	・入江宏教授叙勲受章	・冬季オリンピック(バンクーバー) ・小惑星探査機はやぶさ帰還 ・ブルックス栃木プロバスケット日本一
創立12年目 2011年 平成23年	・第10回学位授与式 東日本大震災のためシティキャンパスで挙行 ・子ども生活学部設置(長坂キャンパス)	・入学式を長坂キャンパスで短大・大学合同で挙行 ・第1回合宿交流研修(鬼怒川) ・長坂キャンパス(5号館)竣工
創立13年目 2012年 平成24年	・学位授与式を長坂キャンパスで短大・大学合同で挙行	・サッカーWカップなどでしこジャパン優勝 ・マグニチュード9.0東日本大震災発生 ・テレビアナログ放送完全終了
創立14年目 2013年 平成25年	・宇都宮市内本学ラッピングバス運行 ・大学生によるまちづくり提案(宇都宮市)第1位	・オリンピック(ロンドン) ・東京スカイツリー開業 ・栃木県産いちご名称「スカイベリー」に決定
創立15年目 2014年 平成26年	・子ども生活学部オーストラリア保育研修(第1回)	・アベノミクス始動、異次元緩和で円安・株高 ・ゆるキャラグランプリに「さのまる」
創立16年目 2015年 平成27年	・牧野カツコ副学長就任 ・大学生によるまちづくり提案(宇都宮市)第1位 ・子どもとつくる森フェアリープロジェクト発足	・冬季オリンピック(ソチ) ・男子テニス全米オープン錦織圭準優勝
創立17年目 2016年 平成28年	・シティライフ学部ホテル・観光コース設置 ・大学生によるまちづくり提案(宇都宮市)2年連続第1位 ・子ども生活学部5周年記念公演(長坂キャンパス)	・ラグビーW杯日本が南アフリカに歴史的勝利 ・安全保障関連法成立
創立18年目 2017年 平成29年	・大学生によるまちづくり提案(宇都宮市)3年連続第1位 ・知事と語ろうフォーラムin栃木(長坂キャンパス)	・オリンピック(リオデジャネイロ) ・地球温暖化パリ協定発効 ・マイナンバー制度スタート
創立19年目 2018年 平成30年	・大学生によるまちづくり提案(宇都宮市)4年連続第1位 ・牧野カツコ名誉教授叙勲受章	・ブルックス栃木Bリーグ初優勝 ・日光東照宮「陽明門」4年ぶり公開
創立20年目 2019年 令和元年	・山島哲夫副学長就任 ・古池弘隆特任教授 国土交通大臣表彰 ・Tiny「輝く“とちぎ”づくり」表彰(栃木県知事賞)	・冬季オリンピック(平昌) ・次世代型路面電車(LRT)事業が国の認可取得 ・「いちご王国」50年連続日本一 ・天皇陛下生前退位・令和元年 ・JAXA探査機「はやぶさ2」が小惑星「リュウグウ」に着陸 ・ラグビーワールドカップで日本代表ベスト8





UTSUNOMIYA KYOWA UNIV.  
宇都宮共和大学

シティライフ学部  
子ども生活学部

#### 校章 (シンボルマーク)

##### ● 全体のフォルム

学名に冠した宇都宮の「宇 (う)」を、エンブレム調にデザインしています。左右対称の造形は、全人教育によるバランスの取れた人間性育成を象徴しています。

##### ● スミレの花について

堇 (スミレ) は厳寒に耐えて滋養を蓄え、早春、真っ先に花をつけます。西欧では、「春をよぶ使者」として人々に喜びをもたらし、多くの歌曲や絵画のモチーフにもなっています。

宇都宮共和大学では、学校法人須賀学園の草創期からの伝統があり、学生が社会に羽ばたく直前の貴重な4年間のキャンパスライフ、新たな人生への幕開けにふさわしいフィールドの象徴として、スミレをシンボルマークに取り入れています。